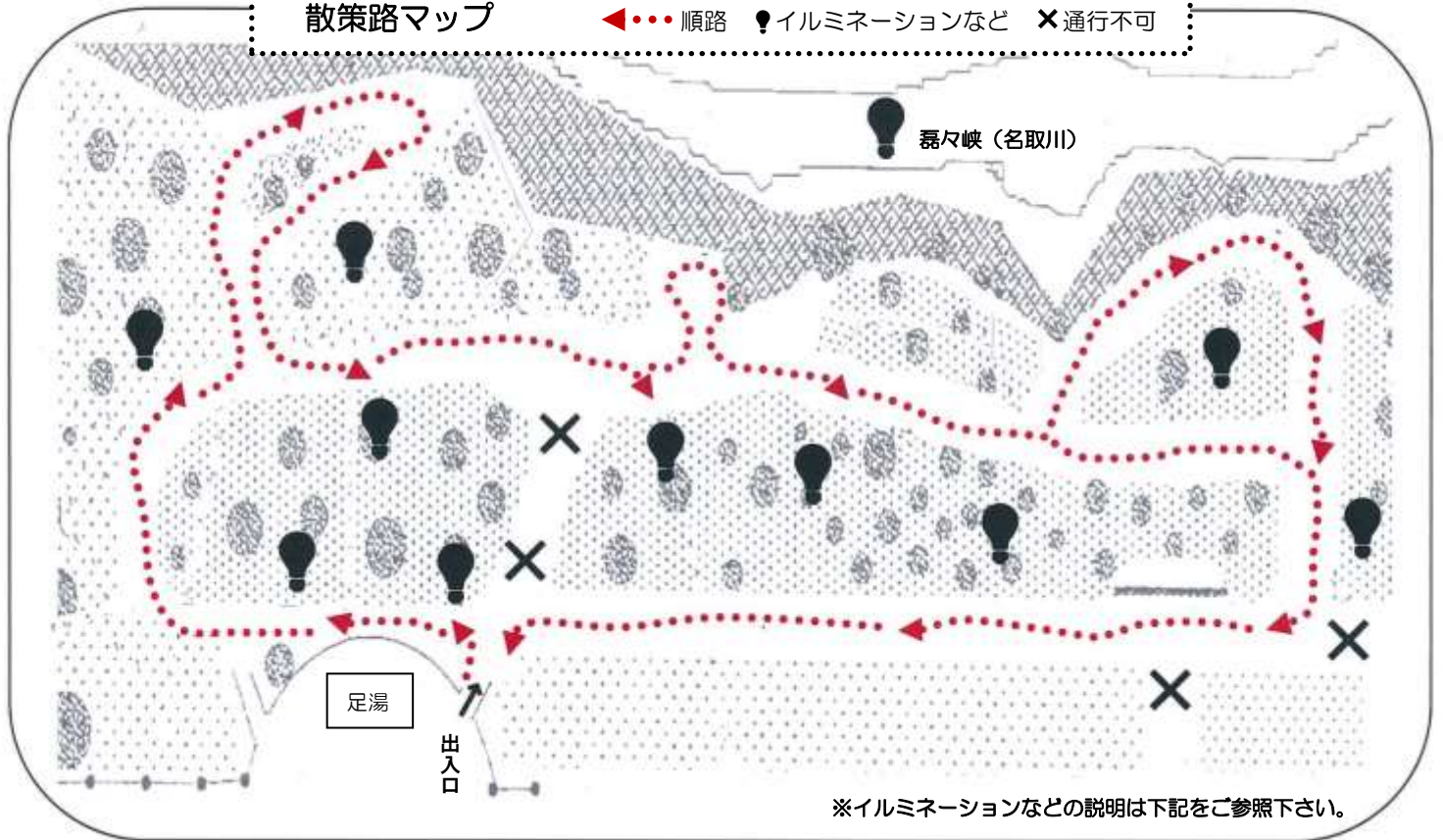


散策路マップ

◀●●●順路 💡イルミネーションなど ✕通行不可



平成最後の“秋”。あらためて日本の歴史や文化、それぞれに歩んできた道に思いを馳せる方も多いのではないのでしょうか。今回は通常のライトアップに加え、日本人が大切にしてきた四季の情景や、美しい言葉の響きをイルミネーションなどで演出しました。想像力を膨らませてご覧頂けますと幸いです。 秋保・里センター

- 💡 「水の輪」 流れ落ちる水…広がる波紋…人の輪の広がりのように。
- 💡 「色景散る」 いろは 秋の季語。紅葉しつつ、かつ散っていく様子を表したこの言葉を、輝く光で表現しました。
- 💡 「富草実りて」 とみくさ 富草は稲の別名。夕暮れ時、黄金に輝くひとときに思いを馳せて…。
- 💡 「悠久の時」 自然が創り出した名所“磊々峡”。奇岩怪石が闇に浮かび上がります。
- 💡 「春うらら」 れんげ 懐かしい蓮華畑。春風の吹く中、胡蝶が優雅に舞い踊る花園です。
- 💡 「傘の華」 雨の日は憂鬱…。でも、色とりどりの傘を花に見立てれば心和むはず…。
- 💡 「水の旅」 ひとしづく 一滴が沢や滝、川となりやがて海へ…命の水は、今日も旅を続けます。
- 💡 「六花」 むつのはな 六花は雪の異称。雪が積もった日、真っ白な兔が雪遊びを始めました。
- 💡 「虹の彼方」 儂く消える虹に願ったあの日。叶ったこと、叶わなかったこと…。
- 💡 「海の幸」 投網を干す姿が意匠化された“網干” あぼし をモチーフに、足元のシャガ(植物)が波を演出。伝統の文様に、豊漁と海の穏やかなることを願いました。
- 💡 「月夜の風」 風の色は無いけれど、月明かりに照らされた風は、きっと銀色…。